



DAI 3 WOOD

地域のものを使い、地域のもを継承する

Philosophy

明治13年に創業した歴史と技術を継承し、地元
に根を下ろし、地域の森と木、そして地域の人々
とともに歩み、繋がりを大切に温めてきました。
木に携わる中で、地元の企業や職人、自治体など
と手を取り合って、地域を盛り上げて元気に
すること。地域の技術を次世代へ受け継いでい
くこと。地域産材を有効活用し、地域の自然と
共生していくこと。それが私たち企業のゆるぎ
ないテーマです。原動力となるのは人と人の
ネットワークです。会社の中にも外にも仲間が
いる。それは私たちにとって心強い財産です。



木を通じて人が通じ合える、地域を元気にする

Message



木が持つぬくもりや優しさ、安心感。こうしたものに心惹かれるのはきっと私たち日本人のDNAに、木とともに歩んできた歴史と文化が刻み込まれているからではないでしょうか。木を感じる心が人の感受性を育み、私たちの暮らしをより豊かに潤してくれることでしょう。木の良さを活かすのは、人です。人と人が出会い共感し、そこから新たなビジネスが生まれる。それは幸せな瞬間です。これからも私たちは、人と人が通じ合い、地域を元気にする企業であり続けます。

地域産材から外国産材まで

地域産材である信州カラマツ・アカマツや、スギ・ヒノキなどを中心に、全国から厳選した木材を仕入れています。また構造材として欠かせない外国産材など、多種多様な在庫から、お客様のご要望に応じた商品をご用意いたします。天然素材である木材には一つとして同じものがなく、素材選びには長年の経験と深い知識が必要です。

国産材



信州カラマツ
Shinsyu Karamatsu



スギ
Sugi



ヒノキ
Hinoki

北米材



ベイマツ
Douglas Fir



ベイスギ
Western Red Cedar



ベイヒバ
Yellow cedar

欧州材・南洋材



オウシュウトウヒ
White wood



オーク
Oak



セランガンバツ
Selangan batu



建築資材の流通販売



木工事請負(建築全般)



長野県産材製品の加工・販売



防腐・防火処理木材製品の製造・販売

- ・信州木材製品認定工場 認定番号N-006
- ・合法木材供給事業者 団体認定番号:長野県木連 G-330
- ・針葉樹難燃木材/国土交通大臣認定 RM-9010
- ・準防火構造外壁/国土交通大臣認定 QP020NE-9001
- ・準不燃材/国土交通大臣認定 QM-0427
- ・防腐防蟻処理/(社)日本木材保存協会認定剤 A-5056号



株式会社 才三木材

〒389-0514 長野県東御市加沢 201-5

TEL : 0268-62-1202

FAX : 0268-62-1204

<https://dai3wood.co.jp>

OUR BUSINESS

事業概要



魅力ある **木** の使い方を提案する

木は「生き物」。何百年という歳月をかけて成長し、一本一本に表情や個性があります。その木を伐採し適切に手を加えることで、新たな命が吹き込まれます。磨き込まれた木製の家具や食器、アクセサリは実に美しい輝きを放ちます。「デザイン」することで木本来の魅力が引き出され、そこにより長い命が宿る。そんな「木」の可能性を活かすことに私たちは挑戦し続けています。

設計のご提案から施工まで

当社の主力事業の一つである木工事の請負事業。近年では「長野県で木工事といえば第三木材」と言われるほどになりました。当社の木材をご購入いただいているお客様に、必要に応じて仕事を依頼することで、共に助け合い成長していけたらーそんな発想が原点。職人の得意分野を活かす適材適所で、あらゆる木工事のニーズにお応えします。

STEP
01

設計時のご相談

長年の実績に基づき、木の耐久年数や特性、コストの面から総合的に判断。適材適所の木材の使用をご提案いたします。



STEP
02

見積りご提案

お客様のご予算に合わせて、材料を選定し、加工方法をご提案いたします。



STEP
03

工期・体制

当社は、100名以上の職人ネットワークを持ちます。ご要望の工期をふまえ、このネットワークの中から体制を構築します。



STEP
04

施工

それぞれの適正を見極め、現地に最もマッチする職人を配置できるのが当社の強み。職人の得意分野を活かし、適切な施行を行います。



WORKS

施工事例

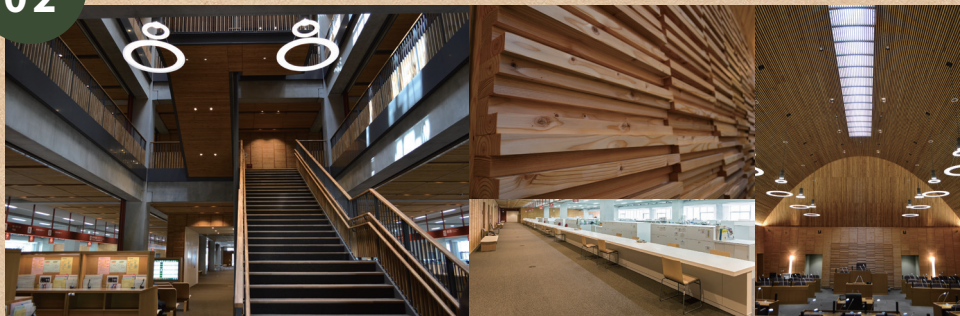
CASE
01

サントミュージゼ 上田市交流文化芸術センター・上田市立美術館



CASE
02

安曇野市役所 新本庁舎



CASE
03

軽井沢発地市庭



丸太から製品完成まで

私たちが日々向き合っている木は「生き物」。水分量により大きく形を変え、年月を経るごとに色合いも変化します。だからこそ、私たちは考えます。「馬鹿正直なまでのこだわりと情熱を持って、手を掛けなければならない」と。試行錯誤の中から生まれた技術で、快適な住環境に欠かせない高品質の製品をお届けします。

1 丸太

原材料となるのは主に、国産・長野県産のから松。サイズは2mから4mとさまざまで、中には7mの大きな丸太もあります。

2 製材

製材機で丸太を裁断し、形を整える工程。主に柱や壁、床などに使われる建築材として、板状の木材や四角い角材へと加工します。

2



3 乾燥

手作業で等間隔に「棧積み」した後、乾燥機で「人工脱脂乾燥」を行います。から松はヤニが多いため、脱脂も重要なポイントに。

3



4 養生

屋外で1ヶ月ほど自然乾燥をします。木材を大気中の湿度や気温に馴染ませ、施行後の寸法変化を最小限に抑えることが目的です。

4



5 成形加工

仕様に合わせ、成形機により加工を施していきます。一枚ずつ検品や色揃えをしながらの作業には、熟練の技術が要求されます。

5



6 サンダー加工

丁寧に補修された製品は、サンダーをかけ化粧仕上げが施されます。この時出る木の粉が、当社オリジナルの補修材に使われています。

6



7 補修

乾燥による節割れや抜け節などがあれば、手作業で補修。木材の経年変化に配慮し、補修材には同じから松の粉を使っています。

7



8 防火・防腐加工

仕様によっては、難燃・準不燃処理や防腐処理を施すことも。1週間かけて薬液を加圧注入し、木の繊維の隅々まで浸透させます。

8

